

# 外国語(英語)科学習指導案

北広島町立芸北中学校  
指導者

- 1 日時 平成 年 月 日 ( ) 5校時  
2 場所 2年生教室  
3 学年 2学年 名 英語発展クラス (男子 名 女子 名)  
4 単元名 Unit 4 “Homestay in the United States”

## Daily Scene 4 電話の会話

NEW HORIZON English Course Book 2 (東京書籍)

### 5 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、生徒がアメリカでホームステイをした時の困った事とその解決策とが扱われる教材である。旅行とは違い、家族の一員として過ごすホームステイでは、コミュニケーションが重要になる。本文では、家庭内でのルールを教わる場面、ステイ中に困った事についての相談と助言のやり取り、助言を受けて自分の意志を適切に述べる場面などが紹介されており、コミュニケーションの大切さや難しさについて考えさせることができる。

言語材料としては、「(不) 必要・義務を表す”have(has) to”, ”don't have to”, ”must “, 「禁止を表す”must not “, 「意志や未来を表す”will” などを含む文を、生徒にとって身近と思われる場面・文脈で使わせながら理解させることに適した単元である。

Daily Scene 4 においては、電話での会話について扱われる教材である。ニューヨークへ引っ越ししたエリカが、さっそく現地の学校で友だちになったメグから電話がかかってくる。1年次では、電話での応答で、Hello. や This is.... など初歩的な会話表現であったが、2年次では、「…さんをお願いします。」と取り次ぎを頼む表現を学習することでより発展的な学習を行うことができる。

言語材料としては、Unit4 で学習した have to を復習しながら、助動詞である may を活用しており、ていねいに依頼する表現や、誘ったり、断ったり、謝ったりなど、場面・文脈に応じた表現を理解させることに適した単元である。

上記の内容は、中学校学習指導要領外国語編「話すこと」の指導項目の「(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」「(エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話をつづけること」「書くこと」の指導項目の「(オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に伝わるように、文と文のつながりに注意して文章を書くこと」に位置付けられる。

#### (2) 生徒観

本学年の生徒は、基礎・基本定着状況調査において通過率が 93.2%であり、基礎的・基本的な知識・技能の定着(タイプⅠ 93.7%) および、思考力・表現力(タイプⅡ 90.3%) などの学力が概ね身に付いている。授業における様々な活動に大変素直に一生懸命に取り組むことができる。事前に2学年全体で実施したアンケートで次のような結果となった。

内容	あてはまる	あてはまらない
英語の授業では、英語で文章を書くときは、自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、一文一文を正しく書くとともに、文と文とのつながりに注意しています。	94.4%	5.6%
英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。	83.3%	16.7%

英語の授業で学んだことを、ふだんの生活で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるか考えたりしています。	83.3%	16.7%
---	-------	-------

「書くこと」においては、文と文のつながりに注意しながら書いており、書くことへの抵抗感はない。また、「話すこと」においては、基本的な英語の質問などパターンで答えることや、2文以上で自分の考えや気持ち、事実を伝えることは概ねできている。一方で、自分の考えや気持ち、事実などを話すことや日常会話で使える場面や文脈を意識しながら話すことへ苦手意識を持っている生徒が16.7%いる。

### (3) 指導観

助動詞の文法事項においては、have (has) to = must などと単純化しすぎて指導すると、don't have to = must not ではないかと誤った類推を招くことがあるので、注意したい。全ての生徒が本単元のように海外でのホームステイや、Daily Scene 4 「電話での会話」においても将来経験するとは限らないので、身近な場面を設定し、英語を使う状況を多くつくり、頭の中にイメージとしてしっかり残るようにして指導したい。

スキット発表や音読においては発音練習の時間を多くとり、「アイコンタクト」、「顔の表情」及び「ジェスチャー」を効果的に取り入れていきたい。また、即興性を取り入れることで、自己表現を自由にかつスムーズに行えるようにしていきたい。

## 6 単元の目標

- ペア・グループワークにおいて、間違いを恐れず話そうとする。
- する必要があることや自分の意志を相手に正確に伝えたり、たずねたりすることができる。
- 電話での応答で「・・・さんお願いします。」と取り次ぎを頼んだり、誘ったり、断ったり、謝ったりすることができる。
- ホームステイに必要な決まりごとやホームステイでの相談とその回答を読んでその内容を理解することができる。
- 天気予報や天気に関する会話を聞いて、必要な情報を聞き取ることができる。
- have to / don't have to, will, must / mustn't / May I...?を用いた文の構造を理解することができる。

## 7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
○ペア・グループワークにおいて、間違いを恐れず話している。	○する必要があることや自分の意志を相手に正確に伝えたり、たずねたりできる。 ○電話での応答で「・・・さんお願いします。」と取り次ぎを頼んだり、誘ったり、断ったり、謝ったりすることができる。	○ホームステイでの必要な決まりごとやホームステイでの相談とその解答を読んでその内容を理解することができる。 ○天気予報を聞いて必要な情報を聞き取ることができる。	○have to / don't have to, will, must / must not/ May I...?を用いた文の構造を理解している。

## 8 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本単元の指導において取り入れる活動を通して、育成する資質・能力は次の通りである。

学習活動	育成する資質・能力	具体的な姿
ある事柄についてたずねたり、答えたりする活動	意志力	既習の文法事項や、電話での応答などについて、ペアで積極的に会話している。

9 指導と評価の計画 (全9時間)

	学習内容	評 価					
		関 心	表 現	理 解	知 識	○評価基準 (評価方法)	★資質・能力の評価 (評価方法)
0	(前単元の最終時) ・自分のしなければならないことや する予定のことなどを表現できるよ うになる。 <b>課題の設定</b>						
	自分のしなければならない事や予定していることなどどのように表現したらよいだらう。						
1	Starting Out ・助動詞 have to, don't have to を用 いた文構造を理解する。 ・本文の内容を理解する。 <b>情報収集</b> <b>整理・分析</b>				○	○ have to / don't have to を用いた 文の構造を理解している。 (観察・ワークシート) ○ホームステイに必要な決まりご とを読んでその内容を読み取り理 解することができる。 (ワークシート)	
2	Starting Out ・ have to, don't have to を用いて決 まりごとについて伝える。 <b>まとめ・創造・表現</b>		◎			○する必要があることを相手に正 確に伝えることができる。 (ワークシート)	★ある事柄についてたず ねたり,答えたりするこ とができる (ワークシ ート)
3	Dialog ・助動詞 will を用いた文構造を理解 する。 ・本文の内容を理解する。 <b>情報収集</b> <b>整理・分析</b>				○	○ will を用いた文の構造を理解して いる。 (ワークシート,観察) ○ホームステイに必要な決まりご とを読んでその内容を読み取り理 解することができる。 (ワークシート)	
4	Dialog ・助動詞 will を使ってこれからしよ うとしていることについて述べる。 <b>まとめ・創造・表現</b>		◎			○自分の意志を相手に正確に伝え ることができる (ワークシート)	★ある事柄についてたず ねたり,答えたりするこ とができる (ワークシ ート)
5	Read and Think 1, 2 ・助動詞 must, must not を用いた文 構造を理解する。 <b>情報収集</b> <b>整理・分析</b>				○	○ will を用いた文の構造を理解して いる。 (観察,ワークシート)	
6	Read and Think 1, 2 ・本文の内容を理解する。				○	○ホームステイでの相談とその回 答を読んでその内容を理解するこ とができる。 (観察,ワークシート)	
7	Activity 1, 2 ・天気予報や天気に関する会話を聞 いて, 必要な情報を聞き取る。 ・家での決まりごとについてたずね たり答えたりする。				○	○天気予報を聞いて必要な情報を 聞き取ることができる。 (ワークシート,観察) ○する必要があることや自分の意 志を相手に正確に伝えたり, たずね たりできる。 (ワークシート,観察)	★ある事柄についてたず ねたり,答えたりするこ とができる (ワークシ ート)
8	Daily Scene 4 ・ May I ...? を用いた文構造を理解 する。 本文の内容を理解する。 <b>情報収集</b> <b>整理・分析</b>				○	○ May I ...? を使った文の構造 を理解している。	ワークシート

9	Daily Scene 4 ・電話での会話表現を使って、誘ったり、断ったり、謝ったりする。(本時) <b>まとめ・創造・表現</b> <b>振り返り</b>	◎	○		○電話での応答で「・・・さんお願いします。」と取り次ぎを頼んだり、誘ったり、断ったり、謝ったりすることができる。 (観察)	★ある事柄についてたずねたり、答えたりすることができる(ワークシート)
後日	<パフォーマンステスト> ・ペアで電話での応答をする。		◎		○電話での応答で「・・・さんお願いします。」と取り次ぎを頼んだり、誘ったり、断ったり、謝ったりすることができる。	★既習の文法事項や、電話での応答などについて、ペアで積極的に会話している。

## 10 本時の展開

### (1) 本時の目標

○電話での会話表現を使って、誘ったり、断ったり、謝ったりすることができる。

### (2) 本時の評価規準

#### 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○ペア・グループワークにおいて、間違いを恐れず話している。

#### 【外国語表現の能力】

○電話での応答で「・・・さんお願いします。」と取り次ぎを頼んだり、誘ったり、断ったり、謝ったりすることができる。

### (3) 資質・能力の評価基準

【意志力】電話での応答について、ペアで間違いを恐れず、会話している。

### (4) 準備物

ワークシート、携帯電話、TV、PC、カード

### (5) 本時の学習展開

	学習活動と主な発問	指導上の留意点 (◆配慮を要する生徒への支援)	評価規準(評価方法) ☆観点別評価 ★資質・能力の評価
導入	1 Warm-Up (3分) ○あいさつ ○めあての確認	◇クラスルームイングリッシュを使用することにより英語の授業への切り替えを行う。  電話で場面や文脈に応じた会話をしよう。	
展開	2 帯学習 (5分) ○教科書の音読練習  3 電話での会話場面を設定する。(5分)	◇本文を抑揚や発音に気をつけながら音読練習する。  ◇場面に応じた会話ができるように、10のカードから1枚選ぶ。	

<p>展 開</p>	<p>4 ペアで発表する。(10分)</p>	<p>◇◆ペアで役割分担し、どのように表現すべきかを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>Card① 【かける側】   【受ける側】 メグ(エリカと話したい)                 エリカの母 【内容】 買い物しよう誘うが、宿題をしなければいけないので断られる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>Card② 【かける側】   【受ける側】 ユンホ(エリカと話したい)             エリカの父 【内容】 映画を観ようと誘い、一緒に行く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>Card③ 【かける側】   【受ける側】 エリカ(メグと話したい)                 メグ本人 【内容】 ユンホの誕生日パーティーに誘い、メグは行く。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Card④ 【かける側】   【受ける側】 アレックス(ディーパと話したい)     ディーパの父 【内容】 テニスを公園でしないかと誘うが、ディーパはしなければならないことがたくさんあるので断られる。</p> </div>	<p>☆【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ○ペア・グループワークにおいて、間違いを恐れず話している。(観察) ☆【外国語表現の能力】 ○電話での応答で「・・・さんお願いします。」と取り次ぎを頼んだり、誘ったり、断ったり、謝ったりすることができる。(観察) ★【意志力】電話での応答について、ペアで間違いを恐れず、会話している。(観察)</p>
	<p>5 教科書を活用し、適切な表現を理解する。(10分)</p>	<p>◇会話をワークシートに書いて、正しい表現を理解する。 ◆教科書やノートを見て、どの表現を活用すべきかを指導する。</p>	
	<p>6 別のカードを選び、ペアで練習し、発表する。(16分)</p>	<p>◇場面に応じた会話ができるように、10のカードから1枚選ぶ。 ◇◆ペアで役割分担し、どのように表現すべきかを話し合う。</p>	<p>☆【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 ○ペア・グループワークにおいて、間違いを恐れず話している。(観察) ☆【外国語表現の能力】 ○電話での応答で「・・・さんお願いします。」と取り次ぎを頼んだり、誘ったり、断ったり、謝ったりすることができる。(観察) ★【意志力】電話での応答について、ペアで間違いを恐れず、会話している。(観察)</p>

まとめ	7 教科書を活用し、適切な表現を理解する。(8分)	◇会話をワークシートに書いて、正しい表現を理解する。 ◆教科書やノートを見て、どの表現を活用すべきかを指導する。	
	8 今日の評価, (3分) [振り返りの視点] ①間違いを恐れず話せたか。 ②ペアで電話での応答		

### 1 1 単元末パフォーマンス課題

- パフォーマンス課題：既習事項を活用して、ペアで電話での応答をする。
- 評価規準：イ 外国語表現の能力
  - 電話での応答で「・・・さんお願いします。」と取り次ぎを頼んだり、誘ったり、断ったり、謝ったりすることができる。
- 評価基準：既習事項を活用して、電話での応答をすることができる。

A (十分満足)	<p>○have to / don't have to, will, must / must not/ May I...?など学習した表現を用いて応答しており、かつ英語表現としても正確である。</p> <p>○間違いを恐れず、既習表現を最大限に利用し、積極的に伝えようとしている。</p>	<p>【例】</p> <p><i>Erika's father:</i> Hello?</p> <p><i>Meg:</i> Hello? This is Meg.</p> <p>May I speak to Erika, please?</p> <p><i>Erika's father:</i> Sure. Just a second.</p> <p><i>Erika:</i> Hi, Meg. What's up?</p> <p><i>Meg:</i> I'm going to go shopping. Why don't you come?</p> <p><i>Erika:</i> I'm sorry, but I can't.</p> <p>I have to do my homework.</p> <p><i>Meg:</i> Fine. Maybe some other time.</p>
B (おおむね満足)	<p>○have to / don't have to, will, must / must not/ May I...?など学習した表現を用いて応答しているが、英語表現としては正確さに多少欠けている。</p> <p>○間違いを恐れず、伝えようとしている。</p>	<p>【例】</p> <p><i>Erika's father:</i> Hello?</p> <p><i>Meg:</i> Hello? This is Meg. Erika, please?</p> <p><i>Erika's father:</i> Sure. Just a second.</p> <p><i>Erika:</i> Hi, Meg. What?</p> <p><i>Meg:</i> I'm going to go shopping. Let's go shopping.</p> <p><i>Erika:</i> I'm sorry. I have to do my homework.</p> <p><i>Meg:</i> Fine.</p>
C (努力を要する)	<p>○have to / don't have to, will, must / must not/ May I...?など学習した表現を用いて応答しているとは認められ英語表現としても正確ではない。</p> <p>○間違いを恐れて、伝えようとしていない。</p>	<p><i>Erika's father:</i> Hello?</p> <p><i>Meg:</i> Hello? This is Meg. Change Erika, please?</p> <p><i>Erika's father:</i> OK. Wait.</p> <p><i>Erika:</i> Hi, Meg.</p> <p><i>Meg:</i> Let's go shopping.</p> <p><i>Erika:</i> I can't. I have homework.</p> <p><i>Meg:</i> OK. Bye.</p>